

独立行政法人宇宙航空研究開発機構行動計画

職員が仕事と子育てを両立させることができ、職員全員が働きやすい環境をつくることによって、全ての職員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次のように行動計画を策定する。

1 行動計画期間 平成 25 年 4 月 1 日から平成 27 年 4 月 30 日までの 2 年 1 ヶ月

2 内容

目標 1 計画期間内に、年度に発給された年次有給休暇と夏季特別休暇の合計日数の 60% を取得できるよう休暇取得を促進する。

<対策>

- ・平成 25 年 4 月～ 年次有給休暇や休暇のまとめ取りの促進を機構内 HP 等で周知する。特に、子どもの学校行事や家族の記念日などには出来る限り休暇を取得するように促す。
- ・平成 25 年度（休暇取得率）60.11%達成

目標 2 計画期間内に、時間外勤務免除を受ける職員の子どもの制限年齢（現行：小学校就学前）を小学校低学年の子に引き上げる。

<対策>

- ・平成 25 年 4 月～ 他機関等の実情調査。
- ・平成 25 年 10 月～ 制度の改正を関係者と調整し実施に向けて検討。
- ・平成 27 年 4 月～ 制度の改正

目標 3 ワーク・ライフ・バランスについて職員の理解を深め、それを支援する諸制度の周知徹底をはかる。

<対策>

- ・平成 25 年 4 月～ ノー残業デーの周知徹底や育児者に対する周囲の理解を深め、誰もが働きやすい職場環境を作る。
- ・研修等により管理職への理解を深める。